

教員養成の目標（外国語（英語））

本学は、「共生の精神を教育の基盤として、心の問題への取り組みを通して他者のために自分を役立てる人人の育成」を使命としている（学則第1章第1条）。キリスト教ヒューマニズムに基づき、「子どもにとって教師はどのような存在か、社会にとって教育の持つ役割とは何か」を様々な視点から考え、子どもの心を理解し、子どもとともに成長する教員の養成を目標とし、心のケアができる教師として次世代の教育に取り組む力の育成を目指す。

この使命を踏まえ、さらには「教員としての使命感や責任感、教育的愛情等を持って、学級や教科を担当しつつ、教科指導、生徒指導等の職務を支障が生じることなく実践できる資質能力」の育成をめざし、深い人間・子ども理解と職業的倫理観および教科に関する専門的な知識・技能をもつ実践力のある教員の養成を行うことを理念としている。

本学の養成する教員像

1. 教職に対する強い情熱を持つ教員・教員としての使命感や責任感・子どもに対する深い教育的愛情
2. 教育の専門家としての確かな力量を持つ教員・教科に関する専門的な知識・技能と教科指導力・深い人間・子ども理解と生徒指導力
3. 総合的な人間力を持つ教員・豊かな人間性や社会性・高い職業的倫理観をもって職責を果たし、社会に貢献する力・幅広いコミュニケーション能力
4. 学び続ける教員・絶えず研究と修養に励み、資質能力を生涯にわたって高めていく力